

急性出血性結膜炎の警報発令について【速報値】

令和7年（2025年）4月3日（木） 15時00分

北海道千歳保健所 健康推進課
電話：0123-23-3175

北海道では感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生動向調査を実施しておりますが、令和7年第13週（令和7年3月24日～令和7年3月30日）において、管内の定点医療機関当たりの患者報告数が、警報基準以上となりましたので、急性出血性結膜炎を発令します。

記

1 定点医療機関当たりの患者報告数（第13週速報値）

区分	千歳保健所	全道	全国
定点当たり患者数	1.00人	0.03人	0.06人

2 急性出血性結膜炎とは

急性出血性結膜炎は特定のウイルスに感染したことによる急性結膜炎です。発症はどの季節でも起こります。また、感染する年齢は1～4歳に比較的多くみられますが、他の年齢でも発生します。

3 急性出血性結膜炎の感染予防

特別な治療法は無く、症状に応じた対症療法が行われます。また予防接種もありません。

感染予防には流水で手指を石けんで十分に洗うこと、タオルなどの共用を避けることが重要です。

4 参考

(1) 最近5週間における定点医療機関当たりの患者報告数（表示は、「患者/定点」単位：人）

	第8週 (2/17～2/23)	第9週 (2/24～3/2)	第10週 (3/3～3/9)	第11週 (3/10～3/16)	第12週 (3/17～3/23)
千歳保健所	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
全道	1(0.03)	1(0.03)	0(0)	0(0)	0(0)
全国	23(0.03)	28(0.04)	29(0.04)	39(0.06)	56(0.08)

(2) 急性出血性結膜炎警報とは

【発令基準】

警報：1 定点医療機関当たりの患者報告数が一週間で1人以上となった場合

※ 警報発令後は1 定点医療機関当たりの受診患者数が1人以上であれば警報を継続

厚生労働省の感染症発生動向調査により、千歳保健所管内の小児科定点医療機関を受診した急性出血性患者数が、国立感染症研究所において設定した警報の発令基準値に達した場合に発令します。

注意報は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示しており、流行発生後であれば、その流行がまだ終わっていない可能性があることを示しています。

また、警報は、大きな流行の発生や継続が疑われることを示しています。